

教育センター・中部教育事務所複合化庁舎（仮称）基本設計委託業務  
公募型プロポーザル説明書

1. 目的

教育センター及び中部教育事務所について、複合化による新庁舎を整備する。  
本委託業務において、教育センター及び中部教育事務所がその機能を発揮するために必要な施設・整備・外構等を適切に整備するための基本設計を行う。

2. 業務概要

- (1) 委託名 教育センター・中部教育事務所複合化庁舎（仮称）基本設計委託業務
- (2) 委託期間 契約締結の日から180日以内
- (3) 成果品納入場所 高知県土木部建築課  
高知県高知市丸ノ内1丁目2-20
- (4) 設計概要 教育センター・中部教育事務所複合化庁舎（仮称）基本設計1式

3. 整備の概要

- (1) 施設の用途 教育センター・中部教育事務所複合化庁舎（仮称）
- (2) 建設予定地 吾川郡いの町枝川2410-7
- (3) 施設規模 延床面積 約3,000.00㎡
- (4) 概算工事費（税込）約13億円
- (5) 工事完了時期（予定）令和11年度

4. 業務の対象

教育センター・中部教育事務所複合化庁舎（仮称）がその機能を発揮するために必要な施設・整備・外構等

(1) 複合化庁舎の構成

複合化庁舎は下記の2機関で構成され、それぞれ以下の業務を所掌している。

①教育センター

教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育関係職員の研修等

②中部教育事務所

市町村教育委員会との連絡調整、指導及び助言に関すること等

(2) 複合化庁舎に求められる機能

- ア 狭い敷地でも受講生が快適に過ごせる魅力ある研修環境を提供すること。
- イ 地震等自然災害時に強い機能を持たせること。

(3) 複合化庁舎に求められる機能を踏まえた整備の方針

- ア 小研修室の間仕切り壁を取り除くと90㎡程度の中研修室（4室程度必要）として使用できるようレイアウトの工夫を行うこと。

- イ 中研修室の間仕切り壁を取り除くと460㎡程度の大研修室（1室のみ）として使用できるようレイアウトの工夫を行うこと。
- ウ 建設コストの縮減及び維持管理・保全コストの縮減
  - (ア) 必要な施設性能・機能を確保した上で建設コスト及び維持管理費の縮減を図る。
  - (イ) 使用材の耐久性の向上により施設の長寿命化を図る。
- エ 周辺の既存施設等への配慮及び景観を保持する景観形成
  - (ア) 周辺の既存施設の景観に配慮した外観デザインとする。
  - (イ) 良好な地域環境の維持・形成に寄与する。
  - (ウ) 環境に配慮した地場材料等（内装木質化）の活用を図る。
  - (エ) 周辺地域からの眺望に配慮し、かつ、周辺地域へ圧迫感を与えない外観デザインとすること。
- オ 駐車場
  - (ア) 可能な限り多くの駐車スペースを確保するよう駐車場の平面計画にも配慮すること。
  - (イ) できるだけ早期に平面計画を示すこと。
- カ 構造等
  - (ア) 鉄筋コンクリート構造及び木造構造を比較検討のうえ、より適切な工法について提案すること。
  - (イ) 建設地の地域特性、建設コスト及び県産木材の活用を考慮したうえで、一般的に検討される範囲において、最適な工法があれば(ア)によらず提案すること。
- キ その他施設の機能等について
  - (ア) バリアフリー対策
    - (イ) 地震など災害時の対策
    - (ウ) 建築物の構造・意匠について
    - (エ) 建築物の内外装等について
      - 木材の利用が可能な部分については、木質化に努めること。
    - (オ) 建築物の省エネ等について

## 5. 業務内容

基本設計業務は、以下の業務について県と受託者の協議のうえ進めていくものとする。受託者は県と十分に調整を図りながら、必要な機能に配慮して、業務を実施するものとします。

- ① 建築（意匠）基本設計
- ② 建築（構造）基本設計
- ③ 電気設備基本設計

- ④ 機械設備基本設計
- ⑤ 外構基本設計
- ⑥ 建築積算業務
- ⑦ 完成予想図作成
- ⑧ ライフサイクルコストの検討
- ⑨ その他建築に関する基本設計に必要な事項

教育センター・中部教育事務所複合化庁舎諸室及び面積（案）  
（内容及び面積は、提案の際の参考とするためのイメージです。）

## 教育センター・中部教育事務所複合化庁舎（仮称）必要面積

2,250 m<sup>2</sup> (3,000 m<sup>2</sup> × 0.75 (レントブル比)) を想定した部屋割

### (1) 研修室・会議室 (一人あたり 3 m<sup>2</sup>)

名称	説明等	面積 (m <sup>2</sup> )	数量	計
中研修室 (38 人)	間仕切壁を取り除くと 460 m <sup>2</sup> の研修室に変更可	115	4	460
小研修室 (10 人)	間仕切壁を取り除くと 90 m <sup>2</sup> の研修室を 4 室に変更可 (3 室分を 1 室に可変)	30	13	390
小研修室 美術	美術用の機材の設置が必要	30	1	30
小研修室 音楽	音楽用の機材の設置が必要	30	1	30
小研修室 技術	技術科用の機材の設置が必要	50	1	50
会議室		40	5	200
				1,160

### (2) 研究室等

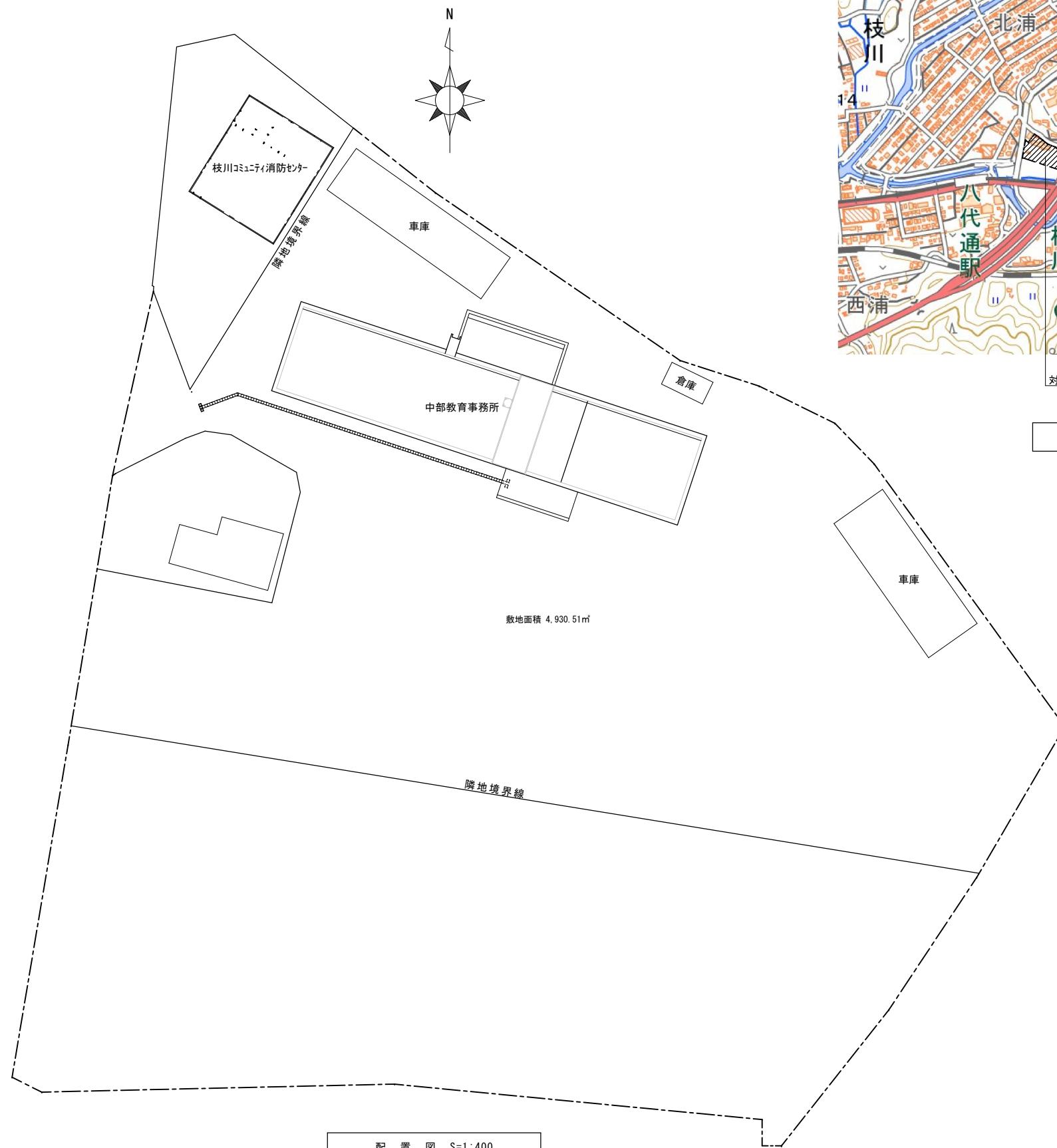
名称	説明等	面積 (m <sup>2</sup> )	数量	計
図書室・教科研究センター (本部)	可動式の書架で省スペース化	110	1	110
学力向上対策室	作業室 45 m <sup>2</sup> 資料室 25 m <sup>2</sup>	70	1	70
配信スタジオ	免外支援スタジオ (美術、技術、家庭)	35	2	70
				250

### (3) 執務室 (一人あたり 6.7 m<sup>2</sup>)

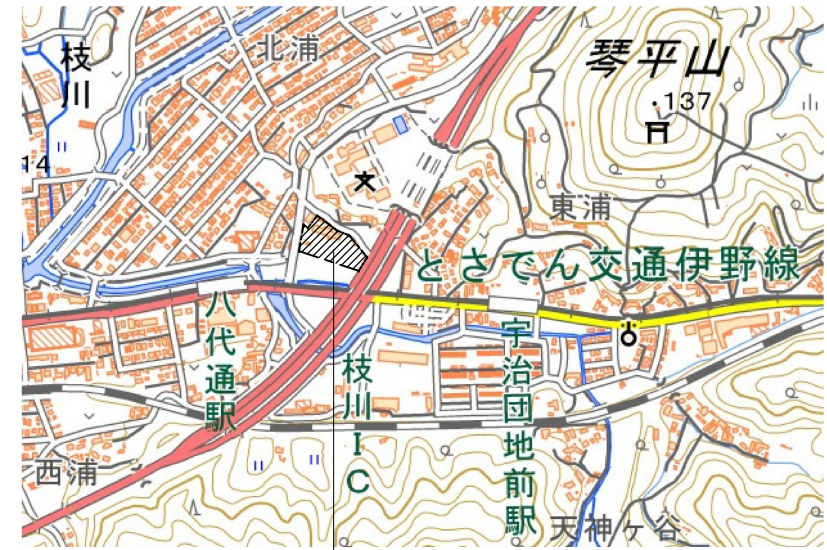
名称	説明等	面積 (m <sup>2</sup> )	数量	計
教育センター	6.7 m <sup>2</sup> × 61 人 = 408 m <sup>2</sup> → 400 m <sup>2</sup>	400	1	400
中部教育事務所	6.7 m <sup>2</sup> × 32 人 = 214 m <sup>2</sup> → 215 m <sup>2</sup>	215	1	215
				615

### (4) 資料室等

名称	説明等	面積 (m <sup>2</sup> )	数量	計
書庫	可動式の書架等で省スペース化を図る	55	1	55
倉庫	サーバー室兼	45	2	90
休憩室 (男女)	40 m <sup>2</sup> × 2 = 80 m <sup>2</sup> ※ロッカー機能含む	40	2	80
				225



配置図 S=1:400



対象地:高知県吾川郡いの町枝川2410-7

附近見取図

工事名	教育センター・中部教育事務所複合化庁舎（仮）基本設計委託業務	土木部建築課	図面内容	附近見取図・配置図		縮尺	1/400	設計年月日	令和 8 年 5 月		図面No.	A-01	
				設計者				検図	担当	製図			
								資格氏名					